

農産FAX情報 第4号

令和7年7月1日

発行：ゆとりみらい21推進協議会 指導部会 幕別町忠類地区

1 秋まき小麦

アブラムシ防除

○一部生産ほ場で発生が確認されています。寄生穂率が45%を超えると減収するため、発生状況を見て薬剤防除を実施してください(表1)。

表1 アブラムシに登録がある薬剤例

薬剤名	系統名	希釈倍率	使用回数	使用時期
スミチオン乳剤	有機リン	1000倍	1回	7日前まで
モスピランSL液剤	ネオニコチノイド	4000倍	2回	7日前まで

2 てんさい

(1) ヨトウガの防除

○雑草周辺では被害が増加します。発生状況を確認し、若齢幼虫のうちに防除を行いましょう。

(2) 褐斑病の防除

○令和6年度は既に初発が確認されていました。高温多湿条件で発生が増加します。天気予報を注視し、予防防除を行ってください(表2)。

表2 褐斑病の防除薬剤例

薬剤名	系統名	希釈倍率	使用回数	使用時期
グリーンガードM水和剤	ジチカ-バメート	400～600倍	5回	21日前
フセキフロアブル	ピリダジン ピリダジメキ	2000～ 3000倍	3回	7日前

3 ばれいしょ

(1) 疫病の防除

○18～20℃多湿条件で発病しやすくなります。予防防除に努め、降雨が予想される場合は、ダブルインターバル(14日間の防除間隔)効果のある薬剤を使用しましょう。(第3号FAX掲載)

(2) 軟腐病の防除

○高温多湿条件で発生が多くなります。また、倒伏等により茎葉が傷つくと発生が助長されるため、気象・茎葉の生育状況に合わせて防除を行いましょう。

○ストレプトマイシン剤(アグレプト液剤など)は耐性菌が出現している地域があります。

こまめな水分補給で熱中症対策を！

農薬のドリフトに注意！！

安全確認で農作業事故防止！